

# 東村市長面目丸潰れ！ 市議の思惑は…

12月22日任期満了の福井市長選は12月8日告示、15日投開票の福井市長選。

東村福井市長に令和時代の福井市の運営は委ねられな  
い。市議会の3分の2強を占める4会派が東村市長の4  
選不支持を示したことで12月の市長選が混沌としてき  
た。東村市長出馬断念か、それとも現職対新人の激突か。

## 出馬表明議事録から削除

東村新一福井市長が7月1日の市会で野嶋祐記議員（志政会）の一般質問に対し、4月の中核市移行や嶺北連携中核都市圏の形成を人口減少と人口流失に歯止めをかけ、激化する地域間競争に打ち勝つための大きなチャンスにし、全国トップレベルの教育など本市が全国に誇れる強みや個性をさらに磨き上げたい。12月の市長選で市民のご支持を頂けるのなら今後も市民の支援、協力を得ながら一生懸命努力すると、4選出馬を正式に表明した。

表明後、一真会（11人）市民クラブ（4人）政友会（4人）公明党（3人）の4会派の会長と堀川秀樹議長（無所属）、池上優徳副議長（一真会）の6人が市長応接室で東村市長と面会。一真会の奥島光晴会長が、東村市長に「大雪までは失政はなかったが、大雪で平成29年度決算を赤字としたことは、財源確保を怠った思慮の浅い対応だった」と東村市長の市政運営を失政と批判。さらに、「市会は県都福井市から知事を出すことが市と県の発展につながるの思いつた。平成29年の暮れまでは、あなたもまんざらでもなかったが、昨年の初めになって突然不出馬の意向が伝わった。家族の反対を理由にした辞退は、公人としてあるまじきもので失望した」と、申し入れ

書を読み上げた。議員から東村市長への離縁状である。野嶋議員の一般質問は4会派の反対決議で議事録から削除された。

7月4日、総務常任委員会を開き、新幹線県内延伸に向けたプロモーション費が盛り込まれた本年度一般会計6月補正予算案の総務関係分を反対多数で否決。委員会での予算案の否決は18年ぶり。東村市長に不支持を伝えた会派の委員が反対したからだ。こうなったらもう最悪だ。

## 知事選不出馬で決定的

今春の知事選で杉本氏を市議とともに支持した東村市長にとつて市議の「4選不支持」は青天の霹靂であったに違いない。人格否定までされた申し入れ書に「どうすればいいのかがよく分からない。公人としてあってはならないと片付けられてしまった」と驚きを隠せず呆然と立ち尽くす。